

“性の多様性”を考える

ALLY(アライ=支援者・理解者)のいる社会を目指して

共同研究者：川又俊則・田口鉄久・石川拓次・渡邊聡

鈴鹿大学「学びのイノベーション」研究助成金を得た「教育現場におけるジェンダーと性別違和の緊急調査」の総括シンポジウムです。この共同研究は、「性の多様性」に関して、歴史・現況の資料を集め、教育現場におけるジェンダーの問題を広くとらえ直し、三重県内の歴史・現況理解のため教育委員会や小中高校などの教員へのヒアリングを進めました。市町の教育委員会・県内すべての養護教諭等への質問紙調査も実施しました。共同研究の成果発表（1部）と関連する識者（文部科学省幹部の立場から性的マイノリティの施策や全国の実態など、教育学の立場から「性の多様性」の課題など）の講演（2部）、会場からの質疑を含めたパネルディスカッション（3部）を行います。

そして、参加者全体で「ALLY（アライ=支援者・理解者）」のいる社会とは何か、それを目指すことの意義などを考えます。

参加費無料

150名様

(事前申込者 研究冊子贈呈)

[日時] ▶▶ 2017年3月4日(土) 13:00~16:00

[場所] ▶▶ 鈴鹿大学 国際文化ホール

(鈴鹿市郡山町663-222)

プログラム

- 12:00 開場
- 13:00 開会挨拶・シンポジウム開催趣旨説明
- 13:05 第1部 研究成果報告 共同研究の概要、質問紙調査結果など
- 14:00 第2部 識者講演 坪田知広氏（文部科学省初等中等教育局児童生徒課長）
「すべての子どもたちの笑顔のために」
渡辺大輔氏（埼玉大学基盤教育研究センター准教授）
「『性の多様性』教育／学習の成果と課題」
- 15:00 第3部 パネルディスカッション「ALLYのいる社会を目指して」
- 16:00 終了

Information



鈴鹿大学 こども教育学部 平成29年4月開設
養護教育学専攻（養護教諭1種、中学校・高等学校教諭1種保健）
幼児教育学専攻（幼稚園教諭1種、保育士）



学校法人 享栄学園
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
〒510-0298
鈴鹿市郡山町 663-222

お問い合わせ
せ・事前申し込みは、
電話・FAX・
メールでどうぞ

TEL 059-372-3900

FAX 059-372-3903

MAIL kawamatat@suzuka-jc.ac.jp

【主催：鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部】

【後援：三重県教育委員会 桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・津市・松阪市・伊勢市・鳥羽市・志摩市・伊賀市・名張市・尾鷲市・熊野市 各教育委員会】

講師紹介

坪田知広氏

平成4年文部省（現文部科学省）入省。私学部私学行政課をスタートに、放送大学、生涯学習、国際交流、芸術文化など、幅広い分野を歩み、平成11年から2年間愛知県警察本部少年課長、平成17年から3年間三重県教育委員会次長（学校教育分野担当）。

その後、文部科学省科学技術・学術政策局企画官、国土交通省観光庁室長、文部科学省文部科学広報官、社会教育課長、競技スポーツ課長を歴任し、昨年4月から現職。この間、文部科学省初の男性育児休業を取得、小学校PTA会長、おやじ日本運営委員なども経験。平成25年度には保育士資格も取得。

渡辺大輔氏

埼玉大学 基盤教育研究センター 准教授 博士（教育学）

専門分野 ジェンダー／セクシュアリティ教育。近年は中高の先生方と共同で「性の多様性」に関する授業づくりを行っています。

主な業績 共編著『セクシュアルマイノリティをめぐる学校教育と支援～エンパワメントにつながるネットワークの構築にむけて～（増補版）』開成出版、2012年 監修『いろいろな性、いろいろな生きかた』（3巻セット）ポプラ社、2016年

今年度の共同研究経過（の一部）

- 3月 鈴鹿大学「学びのイノベーション」研究助成に「教育現場におけるジェンダーと性別違和の緊急調査」採択
- 4～6月 三重県内「性の多様性」に関する担当部署等へのヒアリング調査
- 5月24日 研究会開催（以後、月1回の研究会で、先行研究の検討、メディア情報共有、重要文献購入、調査計画など）
- 5～9月 日本学術会議公開講座「教育におけるLGBTIの権利保障」、人権学習指導資料活用のための講座、虹の全国大会愛媛大会などに参加し、研究者・当事者の知己を得、さまざまな学びを深める
- 10～2月 三重県内「性の多様性」に関する授業実践をされた先生方（養護教諭、小学校教諭）のインタビュー調査
- 11月19日 一般社団法人ELLY山口颯一氏・峰山和真氏を迎えた研究会
- 11月 三重県内・市町の教育委員会対象の郵送法による質問紙調査実施
- 12月 三重県内・養護教諭対象の郵送法による質問紙調査実施
- 12月 論文発表（『生活コミュニケーション学研究所年報』収録）
- 3月 本シンポジウムにて成果口頭報告・研究冊子配布（予定）
- 3月 論文発表（『鈴鹿大学短期大学部紀要』収録（予定））
- 3月 第14回日本教育保健学会大会（於：東北福祉大学）にて一般演題発表（予定）

性の多様性について

性のあり方（セクシュアリティ）は、からだの性（生物学的性、性染色体他）、こころの性（性自認、自分自身の性をどう認識しているか）、好きになる性（恋愛・性愛の対象となる性別）、表現する性など、多様に説明されます。その組み合わせやグラデーションを考慮すると、男女という単純な区分より、多様性があるものと考えべきでしょう。

2010年、文部科学省から、事務連絡「児童生徒が抱える問題に対する相談の徹底について」が出され、性同一性障害に関して教職員等が協力して対応することが示されました。その後も、さまざまな通知等が発せられて現在に至っています。

※事前申込不要。申し込まれた方には研究報告冊子を贈呈します。

電話、FAX、Eメールのいずれかで申込みください。お名前（ふりがな）・人数・住所・連絡先またはE-mailアドレスをお知らせください。



当日は（上記参照）のスクールバス送迎有
ご自由にご利用ください（駅～大学約5分）。
千里駅西口発 12:30、50発
大学玄関前発 16:15発



学校法人 享栄学園
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
〒510-0298 鈴鹿市郡山町 663-222

〔お申込み・問い合わせ先〕

TEL: 059-372-3900 / FAX: 059-372-3903

Mail: kawamatat@suzuka-jc.ac.jp